

大規模災害廃棄物対策九州ブロック協議会 令和6年度協議事項

令和6年度の大規模災害廃棄物対策九州ブロック協議会において協議等を行った事項は下記のとおりです。

令和6年7月24日（水） 第19回 大規模災害廃棄物対策九州ブロック協議会	
報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「大規模災害廃棄物対策九州ブロック協議会」設置要綱について ・ 昨年度の協議会における協議事項について
協議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本年度の「大規模災害時における九州ブロックでの広域的な災害廃棄物対策に関する調査検討業務」におけるスケジュール及び実施予定事項（案） ・ 令和6年能登半島地震における災害廃棄物処理に関する情報共有 ・ 上記内容に関する意見交換

令和7年1月29日（水） 第20回 大規模災害廃棄物対策九州ブロック協議会	
報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度における災害廃棄物関連の対応報告 ・ 人材バンク支援員との意見交換会の開催結果について ・ 情報伝達訓練及びワークショップの開催結果について ・ 災害廃棄物仮置場設置運営訓練の開催結果について ・ 自治体等職員向け研修会の開催結果について ・ 災害廃棄物受入基準調査結果のマッピングについて
協議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行動計画・ブロック内連携マニュアルの見直しの方向性について ・ 次年度以降の対応について ・ 上記内容に関する意見交換

成果：

- ・ 情報伝達訓練（オンライン）及びワークショップ（対面）による連携体制の確認、連携の実践
→情報伝達訓練を通じて、ブロック内連携のあり方について構成員間で認識を深めるとともに、ワークショップにおいて、情報伝達のための様式について、現状の課題や今後の改善に向けた意見を得ることができた。
- ・ 災害廃棄物の仮置場設置運営訓練による発災時の実務的な対応の確認
→大分市内で公園の実地を利用して仮置場の設置や片付けごみの受入にかかる対応を参加者が実践することで、机上とは異なる視点から、課題の認識、イメージの醸成等を図ることができた。
- ・ 行動計画及びブロック内連携マニュアルの見直しの方向性に関する認識の共有
→情報伝達訓練、ワークショップ、仮置場設置運営訓練等を通じ、現状の行動計画やマニュアルを用いてブロック内連携を実践につなげるための課題について構成員の意見を得て、今後の見直しの方向性について検討を行った。
※見直しの方向性の意見が割れたものについては継続協議とし、本年度の訓練や協議会等を通じてさらに検討を行っていく。